



園だより



文京区立根津幼稚園

子どもの世界

園長 野田 久美子

木々が色付き、秋が深まってまいりました。子どもたちは、戸外で鬼ごっこや砂遊び、三輪車に乗るなど、思い思いに好きなことをしたり、友達や先生と関わったりして遊んでいます。運動会を経験したことで、走るのが早くなった、動きが機敏になったなど、成長が見られる姿も多くあります。

さて、今年の誕生会では、毎月魔法（マジック）を披露しています。マジックは全くの素人なのでドキドキしながら挑戦しています。マジックの条件は、私ができるもの、子どもたちが楽しめるものです。子どもたちの反応は様々で、「わぁ、すごい！」と驚く子、「あれ？何かあやしい」と感じている子、「分かった、〇〇したんでしょう！」と仕掛けに気付く子などがいます。仕掛けが分かってしまうのはマジックの世界ではご法度なのですが、私はそんな反応も素敵だと思っています。いつか「魔法をするから見てて」という子が出てきたら、と期待しています。

大人から見ると、幼児期は夢や魔法の世界にいるように感じる場合があります。子どもたちは、自分の周りのものが、すべて自分と同じように生きていると捉えたり、ヒーローやアイドルなど、なりたいものに変身したりすることができます。幼稚園でも毎日様々なごっこ遊びをしています。お医者さん、ラーメン屋さん、運転手など、そのものになって動いたり、やり取りをしたりすることを楽しんでいます。ご家庭でもお子さんがなりきって遊んでいる姿はありますか。周りの大人は、幼児期ならではのこの世界を一緒に楽しみましょう。幼児期の楽しい夢を大切にしていける大人の存在が、子どもたちのイメージの広がりや人への共感といった心の豊かさにつながっていくのだと考えています。



『むっくりくまさん』の鬼遊び(りす組)



ラーメン屋さんごっこ(はな組)



遊園地ごっこの相談(ほし組)